

授業科目名 Title of Course	医学英語 (医療英語 - オーラル・コミュニケーション・スキル)		
対象学年 Eligible Students	3年生	単位 Credits	1単位
科目責任者 Responsible Instructor	みかみ ゆきお 三上 幸夫	所属 Affiliation	リハビリテーション科
授業方法 Lesson Style	前期は本学で開発された医学英語の教材を用いてMoodleを用いてオンラインで実施する。夏期には、対面授業で3日間の集中講義を行う。集中講義と同じ内容を2年次に7回のコースとして早期に履修することもできる。さらに3年次に希望者を対象にMedical Writing Course を開設している。		
概要 Overview	本講義は、学生に医学英語の基礎を習得させることを目的としている。内容は、医師同士の専門的な英語表現と、医師と患者の間で用いられる日常的な英語表現の双方を含む。教材は、身体の各器官系およびそれに関連する医学分野を中心に構成されている。専門的な内容としては、解剖学用語、生理学、および疾患や治療に関連する医学用語を、短いエッセイや図解を通じて学習する。医師と患者のコミュニケーションに関しては、スクリプト化された対話やロールプレイを通じて、口頭コミュニケーション能力を養う。 尚、MD-PhDコースの学生は2年次での早期集中講義「MECC (Medical English Core Course)」を受講することが必須である。 また、4年次の「医学研究実習」、5-6年次の「臨床実習Ⅱ」で海外留学を希望する学生は、3年次の「MWC (Medical Writing Course)」を受講している事が求められる。		
到達目標 Academic Goals	本講義の主な目標は以下のとおりである。 1. 病歴聴取を行うための英語の技能および能力を養成すること。 2. 医学的問題を英語で説明するための英語力を向上させること。 3. 1,700語の医学英語の基本語彙を習得すること。 4. 複雑な医学用語の構成要素を識別する能力を身につけること。		
講義日程 Class Schedule	3年生 1,2ターム Moodleによるオンライン講義 (Davies先生) 【受講対象】全3年生  8月(3日間) IMEC (Intensive Medical English Course) 全7回 (Davies先生, Fraser先生) 【受講対象】2年次MECC未受講者  2年生 3ターム(木) MECC (Medical English Core Course) 全7回 (Davies先生, Fraser先生) 4ターム(水) 【受講対象】希望者、MD-PhDコースの学生は必修 ※講義時間は別途案内予定。受講希望調査後に抽選を行い、受講タームを通知。  (非必修授業) 3年生 3ターム MWC (Medical Writing Course) 全8回 (Fraser先生) 【受講対象】希望者、海外留学(※)を希望する学生 16:20-17:55 ※対象となる留学:4年次「医学研究実習」/5-6年次「臨床実習Ⅱ」		
出席の取り扱い Class Attendance Policy	全ての授業への出席は必須である。欠席が認められるのは、病気による場合のみとする。欠席した学生は、補講を受講することで授業の欠席分を補う必要がある。		
評価項目 Evaluation Item	1. 医学英語に関連する語彙を理解していること。 2. 構造化された質問や、医学的問題および治療法の説明を通じて、患者と英語でコミュニケーションをとる能力を身につけていること。		
評価法 Evaluation Method	学生の評価は、Moodleのスコア、各クォーター末の試験、および集中講義における口頭コミュニケーションおよび筆記課題によって行われる。		
予習・復習への アドバイス Suggestions on Preparation and Review	講義前後に配布資料を確認し、必要に応じて医学英語教材を用いて、内容の理解に努めること。		
履修上の注意 アドバイス Precautions and Advice on the class	本医学英語講義教材は、Moodleを使用してオンラインで提供される。年間を通じて復習および自主学習のために利用可能である。集中講義は9月に実施される。7週間の授業 (MECC2Y) を早期に履修し、合格した2年次学生は、集中講義の受講が免除される。		
推奨参考書 Recommended Reference Books	本講義では、広島大学で開発された医学英語教材14ユニットを使用する。これらの教材は、医学専門家の指導と監修のもと、英語教育の専門家によって設計された。各ユニットには、図解、短いエッセイ、音声付きの対話が含まれており、学生が多様な医学英語の用語を学習し、実践できるよう構成されている。また、講義では複雑な医学用語を理解するために役立つ単語の構成要素の識別にも重点を置いている。		